



東 風

学校ホームページ
QRコード

横浜市立綱島東小学校

【褒めて伸ばす】前期まとめのキーワード

校長 三橋 国雄

夏休みが終わり、学校には子ども達の元気な声が戻って来ました。今年の夏は、コロナが5類になり、様々な行事が4年ぶりと言われながら行われ、綱島でも様々な行事が行われました。7月22日(土)親和会盆踊りをはじめ、綱島の相撲大会、綱島連合自治会の綱島盆踊り、親友会の盆踊り、諏訪神社例大祭、地域の方々が力を合わせ、行っている行事に参加したご家庭もたくさんいらしたことと思います

私も着任4年目にして初めて参加するものもあり、地域の熱い思いを感じる夏となりました。行動制限が緩和され、ここ2~3年とは違う夏休みの過ごし方になったご家庭もあるのではと思います。しかし、猛暑で熱中症の対策をしっかりと行わなければとか、ノロノロ台風で気候が不安定になり、ゲリラ豪雨、雷、洪水などによる交通機関の乱れなどで大変だったご家庭もあるかもしれませんね。私はかれこれ20年近くになるのですが、夏休みは、家族と愛犬とでキャンプに出かけます。テントを張って寝泊まりしますが、今年は初日に今まであったことのないような豪雨にあい、雨が止むまで車でじっと待ちそれからテントを張りました。2日目以降は猛暑が続き、初めて暑すぎて夜眠れない経験をしました。そんな中、愛犬が車のドアの前でお座りをして待っています。早く車に乗ろうと言っているようでした。きっと車の中はエアコンがきいていて涼しいと思っているのでしょう。ドアを開けると一目散に飛び乗りエアコンがきいていない座席で伏せをしている姿に感心しました。犬バカですが「よく知っているね」とたくさん褒めました。

「よく知っているでしょう」と嬉しそうに尻尾をブンブンと振ってくれました。夜だったので、エアコンはかけませんでした。

私が読んだ、子育ての本に「褒める」ということに関して、次のような記事を見つけたのでご紹介します。

子どもたちは褒められることで自信を持ち、様々なことに挑戦できるようになると言われているそうです。それは、子どもが取り組んだこと、活動した姿そのものを褒めることが大切ということです。努力した内容に対して「よくがんばったね」と声をかけられることで、その後の活動を粘り強く続けられる傾向が見られるそうです。例えば勉強を集中して1時間頑張ったという姿に対してよく頑張ったねという評価をされることで頑張った自分への「強み」を育めるそうです。一方「テストでよい点を取る」という活動の成果を褒めてしまうと「自分は勉強ができる」という思考が強くなり、逆に結果が悪ければ「自分には力がないからだ」とマイナスに考える傾向になるようです。

行動や活動をほめることは簡単のようで難しさもあると思います。子どもたちの良いところを見つけて、その行動を褒めることを学校でも家庭でも大切にしていきたいと思っています。

9月1日は綱島東小学校の開校記念日です。昭和46年(1971年)9月1日に開校した本校は今年で創立52年目を迎えます。今までの伝統を生かしつつ、学校における新生活様式も工夫しながら、地域の皆様、教職員、児童、保護者の皆様と気持ちを合わせ、綱島東小学校の歴史を振り返りながら、学校や地域を愛する気持ちをしっかりと育てていきたいと思っています。今月も、お子さん一人ひとりの可能性を見だし伸ばしていけるよう、「褒める」をキーワードに教職員一同チームとなって教育活動に取り組んでいきたいと思っています。今までと変わらぬご支援ご協力をお願いいたします。

